

第426回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

1 開催日時 2026年3月16日(月)

2 開催場所 テレビ新潟本社

3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長 石井 宏明 委員

迫 一成 委員 小山 厚子 委員

杉原 名穂子 委員 浜田 泰宏 委員

書面での出席

大久保 千春 委員 本宮 宏美 委員

会社側出席者

代表取締役社長 正力 源一郎

取締役コンテンツ本部長 河野 修三

コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長 小林 健

報道制作局次長 須山 司

事務局 鈴木 英門 坂上 寿史

4 議 題

1) 番組合評

「そんなわけで新潟にいます。」

放送日時：3月1日（日）16：50～17：20

2) 会社報告

- ① 2月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ② 講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)
- ③ 訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは「“そんなわけで新潟にいます。”は、新潟で暮らす若者が、今なぜ新潟にいるのか？を深く掘り下げる事で、新潟の魅力や新潟で働く生きがいなどにスポットを当てる番組です。今回はミシュランに憧れ美味しい料理を作りたいという若者が、新潟を離れ東京・世界へと向かいながらも、行きついた先が故郷の新潟だったという、その考え方や価値観をしっかりと伝えたいと番組作りを進めました」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 主人公の現在と過去を繰り返して織り込むことで、その背景や価値観に自然と入り込めるような番組作りになっていた。
- 画面が美しいと感じる番組だった。照明や撮影が素晴らしく料理・空間が凄く綺麗で、とても素敵な番組だと思った。
- 主人公の田中さんの軌跡を、もう少し具体的に知りたかった。なぜ長岡に戻ったのか？その核心へ更に深く迫って欲しかった。
- BGMやナレーション含めて、軽すぎず重すぎず、サラっとした感覚が、“ながら視聴”にぴったりの番組だった。新ジャンルにも思える。
- この番組は、いつも取り上げる人物が魅力的で、今回も主人公の生き方とともに、人柄もさりげなく伝えているのが良かった。
- 地元でどのような仲間に囲まれて仕事をしているのか？地元の方とどのような交流を持っているのかを知りたかった。
- 30分番組とは思えない中身の濃い充実した内容の番組だった。土地と人の結びつきを上手くまとめ、魅力的に伝えていた。
- 新潟の魅力が詰まった素晴らしい番組だった。県外の人も見てもらいたいと強く感じた。
- 小国和紙などが紹介されたが、もう少し小国という土地や特産について説明があるとよかった。
- 今回の番組の中ですべてを伝えるのは難しかったが、番組内に登場した、地方からの食の発信者については、別の機会にぜひ取り上げて欲しいと思った。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月……150件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2026年2月16日)から、昨日(2026年3月15日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第425回審議会では、

2) 「ドキュメント新潟'25秋 米価高騰…バブルの果てに」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者、制作スタッフ、社内に周知しました。

3) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

8 今回の第425回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に議事概要の書面を準備します。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

・第425回番組審議会議事録

・2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表

・BPO報告(No. 286)

以上